



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和5年2月14日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-8505
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

「木育ひろば in チ・カ・ホ」(北海道・木育フェスタ 2022) に出展

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、札幌駅前通地下歩行空間で開催された「木育ひろば in チ・カ・ホ」において、地域材を使ったえんぴつ作り体験などの出展を行いました。

(主催 北海道、北海道森林管理局、(公社)北海道森と緑の会)

- 日時 令和5年1月21日(土) 11:30~17:00
1月22日(日) 10:30~17:00
- 場所 札幌駅前通地下歩行空間(札幌市中央区)

【実施内容】

会場では北海道の木や森を感じる内容のイベントとして、各出展団体が工夫を凝らした木工体験やパネル展示、木育マイスターによるワークショップなどが行われました。くしろ木づなプロジェクトでは、子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』木育を感じていただくため、地域材を使ったえんぴつ作り体験や木製品の物販などを行いました。

えんぴつ作りは、3つの樹種から好きなものを選んで、カンナ掛け、仕上げにえんぴつを削って完成です。小さなお子様もカンナ作業にあつという間に慣れてきて、自分オリジナルの形に完成させたえんぴつに愛着を持っていただけたと思います。最後は作ったえんぴつで「あたたかいもの」をテーマに想い思いのアートを施していただきました。

この他にも、札幌初登場の木製品を含めた物販を行ったほか、くしろ木づなプロジェクトの取組を紹介した映像やポスター展示、釧路のカラマツで作った遊具「くしろカラマツカーリング」や「くしろカラマツシューティング」などを自由に体験いただき、子ども達に大人気でした。

イベント全体で約800名の皆様にご来場いただきました。くしろ木づなプロジェクトでは、域外でのこのようなイベントを通じて釧路発の幅広い世代への木育や地域材利用拡大に向けて、今後も取組を引き続き進めていきたいと考えています。



ブースの様子



えんぴつ作り



えんぴつ作り



えんぴつ作り



木製品の販売



木製遊具

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。

「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室
(担当)澤田 卓也

TEL : 0154-31-4550
FAX : 0154-22-8972